

ねらい 「性暴力の例や背景を理解し、安全な意思決定ができるようにする」

指導の
ポイント

性暴力が起こる背景と被害に遭った場合の対応方法

性暴力の現状を知り、性暴力にあわないよう行動する。自分が被害に遭った場合に相談できるようにする。

目指す
子どもの姿

お互いの気持ちを尊重し

より望ましい人間関係を構築する

- 性暴力の例や背景を理解し、デートDV、SNSで見えない相手とつながることの危険性について考える
- 性暴力から身を守るための心構えを知り、具体的な行動をする

学習の
ポイント

よりよい人間関係の構築	性暴力とは	身を守るための行動
<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい人間関係とはどのようなものか考える。 ・目に見えない人との距離感の概念について考える。 ・距離感が守られていないときはどのようにすればよいか考え、自他の距離感を守ることの大切さを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・性暴力の種類(デートDV等)や起こる背景を知り、性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないよう行動する。 ・被害に遭うと心身に様々な傷を負うこと、被害者が訴えにくい状況にあることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・性暴力から身を守るための方法を知る。 ・性暴力にあった場合や友人から相談された場合、信頼できる人に相談するなど、適切な行動ができるようにする。

自助・共助
のポイント

自他の距離感を守る行動

心と体には距離感があり、相手の気持ちを尊重した意思決定をする

指導上の留意点

- ・性暴力は、年齢や性別を問わず起こることを伝える。
- ・性暴力をテーマとして取り扱う際は、すでに被害を受けている生徒がいるかもしれないと意識し、授業の中で、二次被害を受けることのないよう配慮が必要である。
- ・気分が悪くなった場合は授業中にいつでも退席してよいことを伝えるとともに、配慮が必要と思われる生徒がいれば授業中の様子を特に注意深く見守る。

実践例 「性暴力から身を守るための心構えを知り、行動しよう」

<正しい知識の習得>

各教科における安全教育

<思考力・判断力の育成>

保健体育(保健)

- ・思春期には、内分泌の働きによって生殖に関わる機能が成熟すること。また、成熟に伴う変化に対応した適切な行動が必要となること。
- ・エイズ及び性感染症の増加傾向と青少年の感染が社会問題になっていることから、それらの疾病概念や感染経路について理解できるようにする。

特別の教科 道徳

[友情・信頼]

- ・友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。

日常的な安全教育

朝の会・帰りの会等で

<繰り返し指導>

<被害防止啓発資料>

- ・県や警察等が作成した被害防止の啓発資料を配付する際に、自分たちの行動を振り返り、加害者、被害者、傍観者にならないための行動を考えさせる。

<被害を受けたり、相談されたりした場合の対応>

- ・被害を受けた場合や友達から相談された場合には、担任、養護教諭、スクールカウンセラー、保護者など信頼できる人に相談するよう指導する。

定期的な安全教育

特別活動

学級活動「日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」

- ・男女相互について理解するとともに、共に協力し尊重し合い、充実した生活づくりに参画すること。
- ・心や体に関する正しい理解を基に、適切な行動をとり、悩みや不安に向き合い乗り越えようとする

防犯教室等(警察や防犯協会などとの連携)

- 性暴力の例や背景を理解し、デートDV、SNSで見えない相手とつながることの危険性について考え、安全な意思決定ができるように考えさせる。